

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP	 <a href="#">Mantle</a>	 <a href="#">Marker</a>	 <a href="#">Core</a>
中堅	 <a href="#">Biconomy</a>	 <a href="#">Raydium</a>	 <a href="#">Maverick Protocol</a>
新規	 <a href="#">Ethena</a>	 <a href="#">Wormhole</a>	

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内で、関連ニュースから中長期的に注目を集めると予想した銘柄に Goodマークとして表示しています。



有料  
レポート

# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄

## トップ銘柄 分析ガイド 4/4

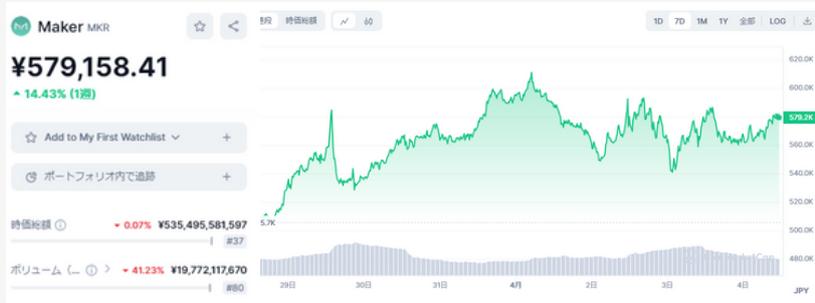
本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	24時間取引量ランク	上昇率7days
#29	 <b>Mantle</b>	Layer2	¥630,904,645,341	¥195.10	2.12倍 (MATIC比)	#95	▲7.68%
#37	 <b>Marker</b>	DeFi	¥535,495,581,597	¥579,158.4	1.82倍 (UNI比)	#80	▲14.43%
#46	 <b>Core</b>	Layer1	¥407,842,287,409	¥465.00	29.25倍 (SOL比)	#29	▲201.41%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼4.57%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)

### Mantle : MNT

#### 注目ポイント：Mantle Rewards Stationを通じた新たなステーキングイニシアチブの導入

Mantle Rewards Stationを通じた新たな ステーキングイニシアチブの導入 にあります。このプラットフォームでは、MNTをロックすることで、2.5億のEthena Shardsを解除できる機会が与えられます。このイベントは、Mantleエコシステム内の既知のdAppsからの報酬や特典と共に、Ethena Labsとの連携のもとで実施されます。ステーキング参加者は、特定の期間内にMNTをロックし、実時間で更新される報酬を獲得できます。この報酬はmShardsという形の領収書トークンで配布され、将来的にはEthenaのネイティブトークン\$ENAと交換可能になります。また、MantleはEthena ShardsをmShardsの形で様々なDeFi dApps間で自由に取引できる最初のエコシステムとなり、これが投資家の関心を惹き、MNTの価値を高める要因となっています。

### Maker : MKR

#### 注目ポイント：MakerDAOからEthenaへの600万ドル投資計画を発表

MakerDAOがEthena発行のUSDeおよびsUSDeに対して600万ドル相当のDAIを投資する計画は、MKRの保有者にとって複数のメリットがあります。DeFi領域によるDAIの需要増加、MakerDAOエコシステムの拡大、リスク分散といった複数のメリットをMKRの保有者にもたらす可能性があります。これらはすべて、MKRの価値と安定性を長期的に向上させる要因となり得るとして期待感が高まっています。

### Core : CORE

#### 注目ポイント：coreBTCの立ち上げ

coreBTCの立ち上げにより、ビットコイン (BTC) をCoreチェーンにブリッジすることで、DeFi (分散型金融) の無限の可能性とBitcoinのセキュリティを橋渡しする解決策を提供している点にあります。これは、ビットコイン保有者が資産の価値を維持しながら、Coreブロックチェーン上のさまざまなDeFiアプリケーションにアクセスできるようにするものです。また、開発者が簡単に参加できるように、CoreチェーンはEVMと互換性があります。ビットコインの半減期が近づく中、COREはステーキングと6ヶ月のインセンティブプログラムを導入しました。これにより、公共チェーンの総ロックアップ量を増やし、注目を集めています。

# CMCサイト内 検索トレンド中堅銘柄 新規リスト銘柄

## 狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 4/4

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

## 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量ラ ンク	上昇率 7days
#138	 <b>Biconomy</b>	platform	¥86,778,881,755	¥123.41	27.82倍 (SOL比)	#111	▲50.2%
#139	 <b>Raydium</b>	DEX	¥86,597,209,986	¥333.36	11.25倍 (UNI比)	#102	▲8.69%
#352	 <b>Maverick Protocol</b>	DeFi	¥24,320,875,718	¥97.28	40.04倍 (UNI比)	#155	▲3.18%

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

### Biconomy : BICO

**注目ポイント：3/28資金調達成功と重要なマイルストーンを発表、市場シェアにおける実績による期待感**

主要なweb3ベンチャーキャピタル（VC）であるJump Capital、Consensys Venturesなどから**戦略的な資金調達を達成している点**、アカウント抽象化インフラ提供者であるBiconomyが、20以上のチェーンと400以上の分散型アプリケーション（dApps）に統合され、**J.P.モーガン、Trust Wallet、メルセデス・ベンツ、TrustWalletなどのパートナーを持つ企業から、開発者に向けたシンプルなユーザーエクスペリエンス（UX）を強化する重要なマイルストーンを発表している点**が期待感を高めています。また実績として、Biconomyのアカウント抽象化-SDKは、500万人以上のユーザーをオンボードし、**アカウント抽象化トランザクションの市場シェアの約50%を占め**、150万以上のスマートアカウントをサポートしていると業界メディアで報じられています。

## Raydium : RAY

**注目ポイント：ミームトークンであるHUMPの新規取り扱いによる需要の増加**

Raydiumは、Solanaブロックチェーン上で動作する自動市場作成（AMM）プラットフォームの一つであり、仮想通貨の取引や流動性提供などが活性化することにより、RAYの需要が高まっています。特に、HUMPトークンのようなプロジェクトがRaydiumで成功を収めることにより、取引の機会が豊富であること、そして多様なイニシアチブを支持するコミュニティが存在することを示しています。これらの要因が相互に作用し、Raydiumへの関心と投資を引き寄せています。ただし、多くのメディア媒体にて取り上げられるほどの話題性はない模様です。

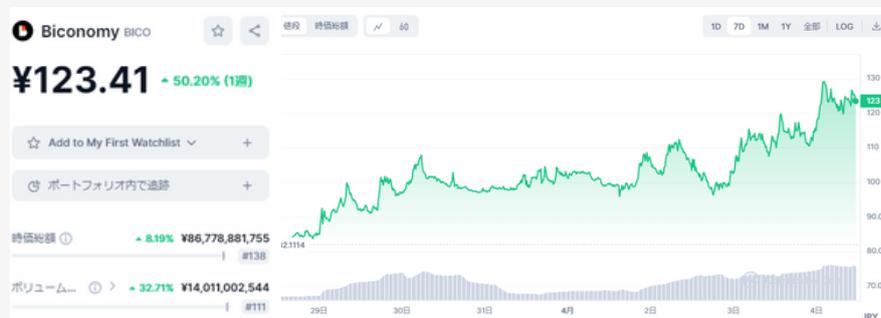
## Maverick Protocol : MAV

**注目ポイント：Maverick Protocolの新展開が投資家の注目を集める**

Maverick Protocolは、zkSyncとBaseという2つのネットワークを含む4つのチェーンで稼働しており、この環境での運用効率が、投資家にとって非常に魅力的に映っているとSNS上で配信がありました。更に、Swell NetworkやKelpDAOといったパートナーとの提携によって、提供する報酬が増え、これが流動性を提供する人たちにとってのさらなるメリットになっています。今後の「Maverick Phase 3」に対する期待も高まっており、この一連の動きにより、DEXはさらに成長し、発展していく期待感が高まっています。ただし、多くのメディア媒体にて取り上げられるほどの話題性はない模様です。

## 中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**▽4.57%**となっております。



## 大穴：新規銘柄 発掘ガイド 4/4

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた大穴：新規銘柄を見つけるために、二つの重要な分析手法を採用しています。1つ目は、CMCに新たに掲載された銘柄を対象に、時価総額ランキングで50位から400位の間に位置する新規銘柄があるかどうかを調査し、その情報を提供することです。2つ目は、Tier1VCのポートフォリオ銘柄の中で、直近7日間で時価総額の順位が急上昇している銘柄を調査し、情報を提供することです。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	直近7日間 のCMC推移
#67	 <b>Ethena</b>	DeFi	¥237,808,469,480	¥166.88	4.1倍 (UNI比)	#8	▲60.03%
#208	 <b>Wormhole</b>	DeFi	¥351,802,401,148	¥195.45	2.77倍 (UNI比)	#12	▼-6.56%

## Ethena : ENA

直近7日間でCMCに新規でリストアップされた銘柄

**注目ポイント：4/2 Binance上場 BinanceLaunchpool 50番目の銘柄**

**Binance Launchpoolの50番目の銘柄としてBinanceに上場**したことが大きな話題となりました。これにより、より幅広い投資家の注目を集めることに成功しました。加えて、プラットフォームの**総価値ロック (TVL) が業界で18位にランクイン**し、約19億7,700万ドル（およそ3,000億円）という実績を上げていることも、その信頼性と成長性を示しています。しかし、ファントムの創設者アンドレ・クロニエ氏は、Ethena LabsのステーブルコインUSDeが高リスクで、**テラ(プロジェクト)のように崩壊する可能性がある**と警告しています。彼は特に、利益を生む契約の資金調達率がマイナスになる点を懸念しています。それに対し、Ethena Labsのガイ・ヤング氏は、リスクを管理するために保険や裁定メカニズムを用意しており、USDeの高い利回りはステーキングと取引戦略によって実現されていると述べ、持続可能だと強調しています。

## Wormhole : W

直近7日間でTier1VC銘柄としてCMCに新規でリストアップされた銘柄

**注目ポイント：有名VC『Coinbase Ventures』銘柄がBinance等に新規上場とサービスリリース**

最近の発表では、ガバナンストークンWが**3億ドルの市場評価額でデビュー**したことが明らかにされました。このトークンは、Solanaベースのコインとして市場に出され、初期には1.8億の流通供給量と160億ドルの完全希薄化評価(FDV)を有していました。また、SolanaやEthereum等の複数チェーンを対象とした**エアドロップを通じて、40万以上のウォレットユーザーに合計617.3万Wトークンを配布**しました。この積極的なコミュニティへの関与は、初期ユーザーへの感謝の表現としてだけでなく、プロトコルの普及と採用促進を目指す戦略です。ただし、このようなエアドロップは広範な関心を集める有効な手段である一方で、実際にプロジェクトに対する長期的なコミットメントを生み出すかについては、より深い検討が必要です。



## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-i-platform.co.jp/>